

C 2018 1/7

あたら つく か  
新しく造り変えられる

◆ せい しょ Ⅱコリント 5・13～19 名前 [ ]

◆ あんしょうせいく Ⅱコリント 5・17

きょう あんしょうせいく か  
今日の暗唱聖句を書きましょう。

1. 「今年は、これに挑戦しよう」と思う目標を書いてみよう。

2. できそうな目標に○をつけてみましょう。

- ( ) べんきょう よ せいせき  
勉強で良い成績をとる。
- ( ) よるおそ み はや ね  
夜遅くまでユーチューブを見ないで早く寝る。
- ( ) ねん せいしょ ぜんぶ よ  
1年で聖書を全部読む。
- ( ) さま すく ぬし しん あたら  
イエス様を救い主として信じて、新しいスタートをする。
- ( ) とも きょうかい さそ  
友だちを教会に誘う。



3. あなたは自分の中に「古い自分」、罪がありますか。それは何ですか？

4. もし、あなたが神様の働きに選ばれたらどうしますか？

- ◇ あたら ひと さま かんしゃ いの ささ  
新しくされている人は、イエス様に感謝の祈りを捧げましょう。
- ◇ あたら かくしん ひと さま すく ぬし しん いの  
新しくされている確信のない人は、イエス様を救い主と信じて、お祈りしましょう。  
イエス様は、あなたを新しく造り変えてくださいます。

 てん ちち かみさま わたし なか つみ みと わたし つみ み が  
天の父なる神様。私の中に罪があることを認めます。私の罪の身代わりにイエ  
さま じゅうじか し みっかめ すく ぬし しん  
ス様が十字架にかかって死んでくださり、三日目によみがえられた救い主と信じます。  
わたし あたら つく か さま なまえ いの  
私を新しく造り変えてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

マタイ 16・13～20

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

マタイ 16・16

2、あなたは友達ともだちからどのような名前よで呼ばれていますか。その呼び名はあなたにとってうれしいですか。あなたの気持ちに○をつけよう。

(1) 呼び名は？ ( )

(2) それはうれしい？

( ) うれしい ( ) まいいか ( ) 呼び名かを変えてほしい

3、弟子でしたちは「人々は人の子をだれと言っているか」というイエス様の質問しつもんにこたえました。人々がイエス様をどのように言っていたかが(1)～(4)に書いてあります。これらの中でイエス様について正しいものには○を、まちがいは×をつけよう。

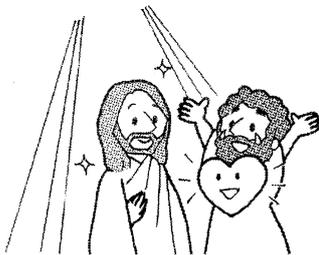
(1) ( ) パプテスマのヨハネ

(2) ( ) エリヤ

(3) ( ) エレミヤ

(4) ( ) 預言者よげんしゃのひとり

4、「あなたがたはわたしをだれと言うか」と質問されたとき、ペテロは何と答えましたか。



あなたこそ

キリストです。

5、ペテロの告白に対して、イエス様は何と言われましたか。正しい方に○をつけよう。

(1) ( ) 「そのように言ってくれてうれしいよ」。

(2) ( ) 「ペテロ、あなたはさいわいです」。

6、イエス様が「あなたはわたしをだれと言いますか」と質問されたら、あなたは何と答えますか。

イエス様は.....です。

☆☆お祈り☆☆ 神様、イエス様のことを教おしえてください。そしてペテロのように「イエス様こそ生ける神の子、キリストです」と信こくはくじて告白します。……イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

C 2018 1/21 <sup>じゅうじか</sup> <sup>お</sup> 十字架を<sup>お</sup>負<sup>お</sup>って

◆<sup>せい</sup> <sup>しょ</sup> 聖書 マタイ 16・21～26 <sup>なまえ</sup> 名前 [ ]

◆<sup>あんしょうせい</sup> 暗唱聖句 マタイ 16・24

<sup>きょう</sup> <sup>あんしょうせい</sup> <sup>か</sup> 今日<sup>か</sup>の暗唱聖句<sup>か</sup>を書<sup>か</sup>きましょう。

1. ペテロは<sup>なに</sup>何が「とんでもないこと」だと言<sup>い</sup>いましたか？  
21節<sup>せつ</sup>を<sup>よ</sup>読んで<sup>あ</sup>ては<sup>ま</sup>るもの<sup>に</sup>に<sup>○</sup>をつ<sup>け</sup>ましょ<sup>う</sup>。

- ① ( ) イエス<sup>さま</sup>様<sup>ころ</sup>が<sup>ころ</sup>殺<sup>ころ</sup>されること
- ② ( ) イエス<sup>さま</sup>様<sup>い</sup>が<sup>い</sup>ピリポ・カイザリヤ<sup>い</sup>に行くこと
- ③ ( ) イエス<sup>さま</sup>様<sup>かめ</sup>が<sup>かめ</sup>5日<sup>かめ</sup>目<sup>かめ</sup>によ<sup>よ</sup>み<sup>よ</sup>が<sup>よ</sup>えること



2. イエス<sup>さま</sup>様<sup>きび</sup>は<sup>し</sup>ペテロ<sup>し</sup>を<sup>なん</sup>厳<sup>い</sup>しく<sup>い</sup>叱<sup>い</sup>りました。何<sup>なん</sup>と言<sup>い</sup>われま<sup>い</sup>したか？  
言<sup>ことば</sup>え<sup>い</sup>を入<sup>い</sup>れま<sup>い</sup>しょ<sup>う</sup>。

あなたは( )の<sup>おも</sup>ことを<sup>おも</sup>思<sup>おも</sup>わ<sup>おも</sup>ないで、  
( )の<sup>おも</sup>ことを<sup>おも</sup>思<sup>おも</sup>っ<sup>おも</sup>て<sup>おも</sup>い<sup>おも</sup>る



3. あなたにと<sup>じぶん</sup>つて「<sup>す</sup>自<sup>じぶん</sup>分<sup>す</sup>を<sup>す</sup>捨<sup>す</sup>てる」、<sup>じぶん</sup>「<sup>じゅうじか</sup>自<sup>じぶん</sup>分<sup>じゅうじか</sup>の<sup>お</sup>十<sup>じゅうじか</sup>字<sup>じゅうじか</sup>架<sup>お</sup>を<sup>なん</sup>負<sup>なん</sup>う」とは<sup>なん</sup>何<sup>なん</sup>で<sup>なん</sup>し<sup>なん</sup>ょ<sup>なん</sup>う<sup>なん</sup>か？  
<sup>かんが</sup>考<sup>じゆう</sup>え<sup>か</sup>て<sup>か</sup>自<sup>じゆう</sup>由<sup>か</sup>に<sup>か</sup>書<sup>か</sup>い<sup>か</sup>て<sup>か</sup>み<sup>か</sup>ま<sup>か</sup>しょ<sup>か</sup>う。



☆<sup>いの</sup>お<sup>てん</sup>祈<sup>ちち</sup>り<sup>かみさま</sup>:天<sup>かみさま</sup>の父<sup>さま</sup>なる神<sup>じゅうじか</sup>様<sup>すく</sup>。イエス<sup>さま</sup>様<sup>じゅうじか</sup>の十<sup>じゅうじか</sup>字<sup>じゅうじか</sup>架<sup>お</sup>の救<sup>すく</sup>いを<sup>ほく</sup>あ<sup>わたし</sup>り<sup>わたし</sup>が<sup>わたし</sup>と<sup>わたし</sup>う<sup>わたし</sup>ご<sup>わたし</sup>ざ<sup>わたし</sup>い<sup>わたし</sup>ま<sup>わたし</sup>す。僕<sup>わたし</sup>た<sup>わたし</sup>ち<sup>わたし</sup>私<sup>わたし</sup>た<sup>わたし</sup>ち<sup>わたし</sup>が<sup>わたし</sup>負<sup>わたし</sup>う<sup>わたし</sup>べ<sup>わたし</sup>き<sup>わたし</sup>十<sup>じゅうじか</sup>字<sup>じゅうじか</sup>架<sup>お</sup>を<sup>お</sup>教<sup>お</sup>え<sup>お</sup>て<sup>お</sup>く<sup>お</sup>だ<sup>お</sup>さ<sup>お</sup>い。イエス<sup>さま</sup>様<sup>お</sup>に<sup>お</sup>つ<sup>お</sup>い<sup>お</sup>て<sup>お</sup>い<sup>お</sup>き<sup>お</sup>ま<sup>お</sup>す。イエス<sup>さま</sup>様<sup>お</sup>の<sup>お</sup>名<sup>なまえ</sup>前<sup>い</sup>によ<sup>い</sup>つ<sup>い</sup>て<sup>い</sup>お<sup>い</sup>祈<sup>いの</sup>り<sup>いの</sup>し<sup>いの</sup>ま<sup>いの</sup>す。ア<sup>い</sup>ー<sup>い</sup>メ<sup>い</sup>ン

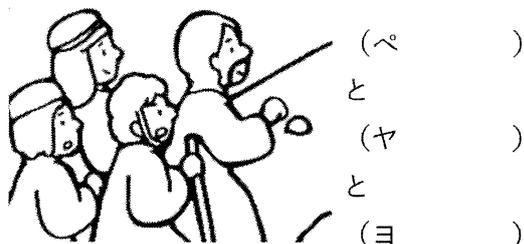
# イエス様の本当の姿は？ すがた 名前

マタイ17・1～8

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

マタイ17・5

2、イエス様といっしょに山に登った  
3人はだれですか。頭文字は書いてるよ。



3、山に登ると、イエス様のお姿が変わりました。どうになりましたか。

- ① ( ) イエス様の背が伸びて高くなった。
- ② ( ) イエス様が子どもの姿になった。
- ③ ( ) 顔は日のように輝いて、衣は光のように白くなった。

4、だれかが現れました。語り合う3人はだれでしょう。名前の頭文字は書いてるよ。



5、イエス様と2人の人は何かを話していました。ルカ9・31には、「エルサレムで遂げようとする最後の事について話していた。」と書いてあります。それは何のことですか。

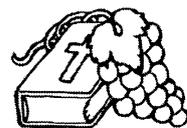
- ① ( ) 最後の晩餐のこと。
- ② ( ) 十字架の死について。
- ③ ( ) 山をどうやっておりるかということ。

6、その光景を見てびっくりした弟子の一人が、「ここにいるのはすばらしい。ここに3つ家を建てましょう、、、、。」と語りました。だれでしょうか。

- ① ( ) ペテロ    ② ( ) ヨハネ
- ③ ( ) ヤコブ

7、すると「これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である。これに聞け」という声が雲の中からありました。これはどんな意味がありますか。2つに○をつけましょう。

- ① ( ) イエス様は神様の子であるということ。
- ② ( ) イエス様のために何かをするということ。
- ③ ( ) イエス様に聞き、従うということ。



**お祈り** 神様、イエス様のお姿が変わり、本当のお姿を見せてくださったことを感謝します。こんなすばらしいイエス様に喜んで聞き、従う者としてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

◆ せい しょ 書 マタイ 18・1～5

なまえ [ ]

◆ あんしょうせいく 暗唱聖句 マタイ 18・3

きょう あんしょうせいく か 今日の暗唱聖句を書きましょう。

1. イエス様は、誰が1番えらいかと争っている弟子たちに、なんといわれましたか。

から選んで、( ) の中に書きましょう。

あなたがたは、( ) のようにならない限り、決して( ) には、はいれません。だから、この子どものように、( ) を( ) 者が、天国で1番( ) です。

ひく 低くする    えらい人    こ 子どもたち    じぶん 自分    てんごく 天国

2. 自分のことをどうおもうていますか？ 当てはまるものに○をつけましょう。

- ( ) まちがいなくえらい人間だと思ふ。
- ( ) おとなしい性格だと思ふ。
- ( ) 神様に1番愛されていると思ふ。
- ( ) リーダーにふさわしいと思ふ。



( ) その他

3. 神様は、小さい子がお父さんやお母さんを信頼して生活するように、あなたも神様を心から信頼するように願っています。あなたは、天の父なる神様を信頼して、生活をしたいですか？

- ( ) はい、神様を信頼して生活をしたいです。
- ( ) いいえ、もう少し考えてから決めます。



てん ちち かみさま わたし とう かあ しんらい せいかつ てん ちち 天の父なる神様。私は、お父さんやお母さんを信頼して生活するように、天の父なる神様を100%信頼して、神様に喜ばれる生活をしたいと決心します。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

C 2018 2/11

と せいねん かな  
富める青年の悲しみ

◆ せい しょ マタイ 19・16～26

なまえ [ ]

◆ あんしょうせいく  
暗唱聖句 マタイ 19・26

きょう あんしょうせいく か  
今日の暗唱聖句を書きましょう。

1. このお話<sup>はなし</sup>にでてくる「青年<sup>せいねん</sup>」は、どのような人<sup>ひと</sup>ですか？（16～22節<sup>せつ</sup>）

2. この「青年<sup>せいねん</sup>」が永遠<sup>えいえん</sup>の命<sup>いのち</sup>を手<sup>て</sup>に入れるためには、どうしたらいいと思<sup>おも</sup>いますか？  
ただ<sup>ただ</sup>正しい<sup>おも</sup>と思うもの<sup>もの</sup>に○をつけましよう。

- 永遠<sup>えいえん</sup>の命<sup>いのち</sup>が買<sup>か</sup>えるほど、たくさん財<sup>ざい</sup>産<sup>さん</sup>を持<sup>も</sup>つこと。
- 神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>の命<sup>めい</sup>令<sup>れい</sup>をすべ<sup>ま</sup>て守<sup>も</sup>ること。
- 良<sup>よ</sup>いことをたくさんする<sup>こと</sup>。
- 財<sup>ざい</sup>産<sup>さん</sup>よりも神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>と人<sup>ひと</sup>々<sup>びと</sup>を愛<sup>あい</sup>すること。



3. あなたの心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>にある大切<sup>たいせつ</sup>なもの<sup>もの</sup>をたくさん書<sup>か</sup>いてください。

4. あなたが永遠<sup>えいえん</sup>の命<sup>いのち</sup>を得<sup>え</sup>るためには、どうしたらいいでしょう？ 自分<sup>じぶん</sup>に当てはまるもの<sup>もの</sup>に○をつけましよう。（何<sup>なん</sup>個<sup>こ</sup>でもいいよ）

- 神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>が喜<sup>よろこ</sup>ぶことをがんばってやってみる。
- イエス様<sup>さま</sup>を自分<sup>じぶん</sup>の救<sup>すく</sup>い主<sup>ぬし</sup>と信<sup>しん</sup>じて心<sup>こころ</sup>にお迎<sup>むか</sup>えする。
- 心<sup>こころ</sup>にある大切<sup>たいせつ</sup>なもの<sup>もの</sup>の中<sup>なか</sup>で、イエス様<sup>さま</sup>を1番<sup>ばん</sup>にする。
- 一<sup>いっ</sup>生<sup>しょう</sup>懸<sup>けん</sup>命<sup>めい</sup>勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>をして、立<sup>り</sup>派<sup>っぱ</sup>な人<sup>ひと</sup>になる。



てん ちち かみさま わたし こころ なか たいせつ  
天<sup>てん</sup>の父<sup>ちち</sup>なる神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>。私<sup>わたし</sup>の心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>には大切<sup>たいせつ</sup>なもの<sup>もの</sup>がたくさんありますが、イエス様<sup>さま</sup>を  
すく ぬし しん こころ なか むか さま なまえ いの  
救<sup>すく</sup>い主<sup>ぬし</sup>として信<sup>しん</sup>じて心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>にお迎<sup>むか</sup>えします。イエス様<sup>さま</sup>のお名<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>によっ<sup>て</sup>お祈<sup>いの</sup>りします。

アーメン。

C 2018 2/18

つか い かた  
仕える生き方

◆ せい しょ マタイ 20・20～28

なまえ [ ]

◆ あんしょうせいく 暗唱聖句 マタイ 20・28

きょう あんしょうせいく か  
今日の暗唱聖句を書きましょう。

1. さゆう ただ おち どうし せん  
左右の正しいと思うもの同士を線でつなぎましょう。

えらくなりたい人・	・しもべになる
リーダーになりたい人・	・仕える



2. なぜそうしなければならないのでしょうか？ ただ おち  
正しいと思うものに○をつけましょう。

- ( ) ちい ちい こと から おお おお こと まで、すべてでできないといけないから。
- ( ) さま わたし つか てほん しめ  
まず、イエス様が私たちに仕えて手本を示してくれたから。
- ( ) つか きも し  
仕えるものの気持ちを知るために。
- ( ) ひと つか  
人に仕えることで、隣人も自分も幸せになることができるから。

3. きょう せいしょかしょ  
今日の聖書箇所から、イエス様はどの様なお方でしょうか？

4. あなたは、かみ ひと つか  
あなたは、神と人ともに仕えたイエス様のようにになりたいですか？



てん ちち かみさま かみ こ  
天の父なる神様。神の子であるイエス様が人々に仕えるために人となられたよ  
うに、わたし かみさま ひとひと つか ひと  
私 も神様と人々に仕える人にして下さい。イエス様のお名前によってお祈りし  
ます。アーメン。

C 2018 2/25 おう さま ころ むか  
王であるイエス様を心に迎えよう！

◆ せい しよ 書 マタイ 21・1～11 名前 [ ]

◆ あんしょうせいいく 暗唱聖句 マタイ 21・5

きょう あんしょうせいいく か  
今日の暗唱聖句を書きましょう。

1. イエス様は何という村から「ふたりの弟子」をつかわされましたか？

( ) エルサレム ( ) ベテパゲ ( ) シオン

2. 「むこうの村」から何を引いてくるようにと、イエス様はお命じになりましたか？

( ) うま ( ) はと ( ) ろば

3. 群衆は何とって叫びましたか？



( ) イエス

( ) ダビデ

( ) ホサナ

4. イエス様はあなたにとってどのようなお方ですか？ 考えて自由に書いてみましょう。



☆ お祈り：天の父なる神様。柔和な王として来られたイエス様を信じて、心にお迎えで  
きますように。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

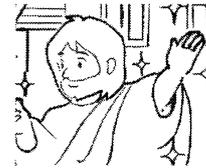
1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

Blank box for writing the verse.

マタイ 22・37

2、ひとりの律法学者はイエス様にどんな質問をしましたか。一つに○をつけよう。

- ① ( ) 「先生、律法って八宝菜のことですか」。
- ② ( ) 「先生、律法を覚えるとえらいですか」。
- ③ ( ) 「先生、律法の中でどれが一番大切ですか」。



3、イエス様は律法の中で、「第一のいましめはこれだ」と言われました。一つに○をつけよう。

- ① ( ) 「心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、勉強しなさい」。
- ② ( ) 「心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛しなさい」。
- ③ ( ) 「心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、良い子になりなさい」。

4、「心をつくし、精神をつくし、思いをつくして」とは全力でということですが、あなたは全力で取り組んでいるものがありますか。それは何ですか。

( )

5、私たちが神様を愛する前に、神様が私たちが全力で愛してくださいました。ヨハネ 4・10を読んで、適切な言葉を入れよう。

\_\_\_\_\_ は私たちの罪のために十字架で命を捨ててくださった。

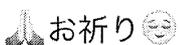
6、イエス様は第二のいましめのことも言われました。一つに○をつけよう。

- ① ( ) 「自分を愛するようにあなたを愛する人を愛しなさい」。
- ② ( ) 「自分を愛するように親切にしてくれる人を愛しなさい」。
- ③ ( ) 「自分を愛するようにあなたの隣り人を愛しなさい」。



7、あなたの隣り人とはだれでしょうか。そうでないと思うものを左から選んで、あみめの先を見てみよう。

家族	_____	隣り人
友だち	_____	tonaribito
学校の先生	_____	ナマリビト
地域の人たち	_____	となりびと
あなたの敵	_____	トナリビト



お祈り

神様、私は自分を愛することも、隣り人を愛することも、神様を愛することもできない罪人です。そんな私を神様が全力で愛し、命を捨ててくださった十字架の愛を心から感謝します。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

マタイ 26・28

2、教会で聖餐式が行われるのを見たことがありますか。

- ① ( ) はい ② ( ) いいえ



3、聖餐式では何を食べていますか。一つ選んであみだの先を見てね。

- ① ( ) ごはん ●  ● 和食の主食 (ハズレ)
- ② ( ) ラーメン ●  ● キリストのからだ (当たり)
- ③ ( ) パン ●  ● ご当地名物あり (ハズレ)

4、聖餐式では何を飲んでいますか。一つ選んであみだの先を見てね。

- ① ( ) コーラ ●  ● 牛さんありがとう (ハズレ)
- ② ( ) ぶどうジュース ●  ● 炭酸飲料 (ハズレ)
- ③ ( ) 牛乳 ●  ● キリストの血 (当たり)

5、聖餐式はこの聖書の場面から始まり、2000年以上行われてきました。この大切なことをだれが決めましたか。

- ① ( ) ローマ法王 ② ( ) 教団委員長 ③ ( ) イエス様

6、聖餐は新しい契約をしめすものです。どんな契約ですか。

- ① ( ) 神の言葉をすべて守り行なうなら救われる。
- ② ( ) 神の言葉が守れず、滅びるしかない者のために、イエス様が十字架にかかり、肉をさき、血を流してくださったことを信じるなら救われる。
- ③ ( ) 毎日パン食でしかもぶどうジュースを飲むなら救われる。

7、聖餐式はだれでも受けることができますか (日本イエス・キリスト教団)。

- ① ( ) 洗礼を受けた人だけ。
- ② ( ) パンとぶどうジュースの大食い競争で勝った人だけ。
- ③ ( ) 聖書のみ言葉を暗記した人だけ。



8、あなたもイエス様を救い主と信じ、洗礼を受け、新しい契約のしるしである聖餐を受けませんか。

- ① ( ) はい ② ( ) いいえ ③ ( ) 私のためにお祈りしてください。

🙏 お祈り 🙏 神様、イエス様が与えられた新しい契約のことがよくわかりました。私も罪を認め、イエス様の十字架のゆるしと永遠の命を信じ、やがて御国でイエス様といっしょに宴会の席につきたいです。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

C 2018 3/18

# いの ゲツセマネの祈り

◆ せい しょ マタイ 26・36～46

なまえ [ ]

◆ あんしょうせいく 暗唱聖句 マタイ 26・39

きょう あんしょうせいく か 今日の暗唱聖句を書きましょう。

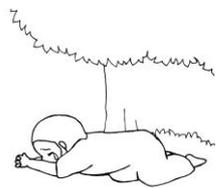
1. きょう かしよ 今日の箇所は、イエスさまがじゅうじか十字架にかかるぜんじつ できごと 前日の出来事です。つぎ しつもん こと 次の質問に答えましょう。

- ① イエスさまたちが行った園は、なんという園ですか？ ( )
- ② イエスさまたちは、ぜんいん 全員でなんいん 人いましたか？ ( )
- ③ イエスさまといっしょ その おく い ひと だれと一緒に園の奥に行った人は、誰ですか？ ( )
- ④ イエスさまは、このとき なんかいの 何回祈ったでしょうか？ ( )

2. イエスさまのきもちとちちなるかみさまのきもちは、おなじではありませんでした。イエスさまは、どちらのきもちを大切にしたいでしょうか？

3. もし、あなたのかんがと神様のかんがが違っていると感じたとき、あなたはどちらのかんがをゆうせん 優先しますか？

4. イエスさまが祈っているあいだ、でし ねむ 弟子たちは眠りこけていました。なぜ、寝てしまったのでしょうか？ おも 思ったことを書きましょう。



☆ イエスさまは、よわ さも 弱さを持っている わたし たす はげ 助けてくださる おかた 方です。どんなときでも、イエスさまを信じ、いの つづ 祈り続けましょう。イエスさまは、あなたをみす 見捨てません。



てん ちち かみさま わたし つみ すく じゅうじか 天の父なる神様。私たちが罪から救うために十字架にかかってくださったイエスさまを、心から信じて感謝します。いつもイエスさまを心に覚えて祈ります。イエスさまのおなまえ 名前によっていの 祈りします。アーメン。

じゅうじかじょう  
十字架上のイエス様

名前

マタイ 27・45～56

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

マタイ 27・46

2、昼の12時から3時、地上の全面はどうなったでしょうか。

- ① ( ) 明るくなった。 ② ( ) 静かになった。 ③ ( ) 暗くなった。

3、「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」とイエス様は叫ばれました。どういう意味でしょうか。

- ① ( ) わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。 ② ( ) すべてが終わった。

4、イエス様は大声で叫ばれてから、息をひきとられました。その後不思議な出来事が起こりました。なにがあったのでしょうか。①～⑤の質問に□の中から選んでアルファベットを書きましょう。



① 神殿の幕はどうなりましたか。  
( )

② ゆれ動く自然現象がおこりました。何ですか。  
( )

③ 岩はどうなりましたか。  
( )

④ 臺はどうなりましたか。  
( )

⑤ 眠っている多くの聖徒たちの死体はどうなりましたか。  
( )

- A. 開けた。
- B. 上から下に裂けた。
- C. 生き返った。
- D. 地震
- E. 裂けた。

5、百卒長やイエス様の番をしていた人々はこれらの出来事を見て非常に恐れ、何と言いましたか。

- ① ( ) だれも助けることができなかったのか。  
② ( ) まことにこの人は神の子であった。

6、十字架の出来事を見て、あなたは何と言いますか。

○

お祈り ☺ 神様、私に代わって十字架におかかりくださり、あなたを心から救い主と信じます。私をお救いください。 ----- アーメン。

2017年度 牧羊者 第IV巻

# ワークC解説 1～3月

(1/7、2/4～18、3/18 田中裕明、1/21、2/25 勝田幸恵、1/14、28、3/4～11、25 上森恭子)

1/7

- 第1問 自由に。
- 第2問 自由に。
- 第3問 無理強いせずに、祈りつつ導いてください。
- 第4問 新しい年に相応しお祈りができますように導いてください。

1/14

- 第1問 聖句を書き入れて読みましょう。
- 第2問 (1)各自の呼び名を書きます。(2)自分の気持ちに○をつけます。
- 第3問 (1)×(2)×(3)×(4)×
- 第4問 生ける神の子
- 第5問 (2)
- 第6問 「生ける神の子キリスト」はペテロと同じ信仰告白ですが、それ以外でもその子なりの信仰告白であれば共に感謝したいものです。各自の応答に対して耳を傾けて導きます。

1/21

- 第1問 ①に○
- 第2問 神、人
- 第3問 自由に考えてみましょう。

1/28

- 第1問 聖句を書き入れて読みましょう。
- 第2問 ペテロ、ヤコブ、ヨハネ。
- 第3問 ○は、③。
- 第4問 イエス様、モーセ、エリヤ。
- 第5問 ○は、②。
- 第6問 ○は、①。
- 第7問 ○は、①、③。

2/4

- 第1問 (子どもたち) (天国) (自分) (低くする) (えらい人)
- 第2問 自由に。
- 第3問 信仰の決心に導いてください。

2/11

- 第1問 お金持ち、いましめを守る人、永遠の命を求めている人など。
- 第2問 財産よりも神様と人々を愛すること。(行いではないことを教えてください)
- 第3問 自由にたくさん書いてもらいましょう。
- 第4問 イエス様を自分の救い主と信じて心にお迎えする。(救いは、行いではなく信じることを教えてください)

<p>2 / 18</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1問 偉くなりたい人—仕える。 リーダーになりたい人—しもべになる。</li> <li>●第2問 まず、イエス様が私たちに仕えて手本を示してくれたから。 人に仕えることで、隣人も自分も幸せになることができるから。</li> <li>●第3問 神の子でありながら、仕えるためにこの世に来られたキリストなど。</li> <li>●第4問 信仰の決心の時です。</li> </ul>
<p>2 / 25</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1問 ベテパゲ</li> <li>●第2問 ろば</li> <li>●第3問 ホサナ</li> <li>●第4問 自由に考えてみましょう。</li> </ul>
<p>3 / 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1問 聖句を書き入れて読みましょう。</li> <li>●第2問 ○は③</li> <li>●第3問 ○は②</li> <li>●第4問 各自自由に答えます。</li> <li>●第5問 主（あるいはイエス様）</li> <li>●第6問 ○は③</li> <li>●第7問 どの人も「隣り人」です。</li> </ul>
<p>3 / 11</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1問 聖句を書き入れて読みましょう。</li> <li>●第2問 各自自由に答えます。</li> <li>●第3問 ○は③</li> <li>●第4問 ○は②</li> <li>●第5問 ○は③</li> <li>●第6問 ○は②</li> <li>●第7問 ○は①</li> <li>●第8問 各自の気持ちに○をつけます。担当教師の方は魂のため覚えてお祈りします。</li> </ul>
<p>3 / 18</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1問 ①ゲツセマネの園 ②12人（ユダはいなかった） ③ペテロとゼベダイの子ふたり④3回</li> <li>●第2問 父なる神様の気持ち。</li> <li>●第3問 自由に書かせてください。神様のみこころが最善であることを教えましょう。</li> <li>●第4問 自由に書かせましょう。疲れていた、満腹だったから、悲しみの果てになど。</li> </ul>
<p>3 / 25</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1問 聖句を書き入れて読みましょう。</li> <li>●第2問 ○は③</li> <li>●第3問 ○は①</li> <li>●第4問 ①B、②D、③E、④A、⑤C</li> <li>●第5問 ○は②</li> <li>●第6問 各自自分の言葉を書きます。</li> </ul>